

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

学校名	神崎市立脊振小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中共通の研究主題を設定し、9年間の成長を見据えた学力向上を目指した。来年度も小中合同の交流活動、交流授業を充実させるとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践に取り組んでいきたい。 ・児童が落ち着いて行動したり、友だちと助け合って生活したりすることができていた。引き続き、安心して学校生活を送ることができるような、支持的でお互いを大切にする風土作りを推進したい。 ・コロナ禍でも方策を探り、地域・社会と連携した体験活動を行うことができた。故郷を大切に、生き方を再考する機会を引き続き持たせ、自ら考えて行動する児童を育成したい。
2 学校教育目標	脊振を愛し 進んで学ぶ たくましい子どもの育成
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ①安心して学べる場を確保し、子ども・保護者・地域から信頼される学校をつくる。 ②教職員の意識改革と効率的な自己研鑽を推進し、指導力と人間性の向上を図る。 ③「知、徳、体」の調和のとれた生き抜く力を備えた子どもを育成する。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標(数値目標)							
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践(校内研・授業改善・読書の習慣化)	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教職員90%以上 ●図書室の年間貸出し冊数が学年目標を達成した児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の技により主体的・対話的な学びの場を充実させ、児童の学びの深まりを図る。 ・児童による授業の評価(アンケート)を取り入れ、授業改善に生かす。 ・学年ごとのおすすめ30冊や図書委員による今月のおすすめの本の紹介などを通して、読書に親しむ機会を増やす。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果より、80%以上の職員が授業において主体的・対話的な学びの充実のために思考ツールを活用するなど、校内研究を意図した授業改善に取り組むことができていた。また、100%の児童が「授業が分かりやすい」「集中して学習に取り組んでいる」と回答している。今後もマイプランを意図した授業改善の取り組みを推進していく。 ・7月に実施した調査で「進んで読書に取り組んでいるか」というアンケートにおいて、肯定的に回答した児童が85%であり、継続して読書に親しむ機会を増やす。 				
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動(人権・同和教育・道徳)	○神崎市の「四か条の誓い」や脊振小の「石の門の教え」をもとに、感謝の気持ちや礼儀正しさ、思いやりの気持ち等を育むために、教育活動全体を通して繰り返し指導し、90%の児童が生活の中で意識して実践できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権集会の実施 ・全校で「ほかほか広場」(友達の良い行動の紹介)に1年間通して取り組み、定期的に人権担当からカードを紹介する時間を設け、友達の良さ見つけへの意識を高めていく。 ・「特別の教科 道徳」についての校内研修等を行う。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に行ったアンケート調査結果では、「ありがたう」や「ごめんない」を言うことができる項目に対して約94%の児童が「よく当てはまる」と回答している。今後も「ほかほか広場」(友達の良い行動の紹介)を継続して実施していき、児童が友達の良い行動を紹介し、たくなるような工夫をさらにしていきたい。 				
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実(生徒指導・教育相談)	○いじめ防止等について組織的対応ができていと回答した教職員90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の様子やアンケートからの情報をもとに毎月個人面談を行う。 ・児童から聞き取った情報は記録し、記録簿に綴る。 ・連絡会等で他職員と共通理解を図り、組織で対応する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の観察や聞き取り調査、毎月の児童アンケートからの情報をもとに、定期的に個人面談を行った。また、児童の様子について、情報共有の時間を設け、全職員が共通理解をした上で、児童の対応にあたることできた。生徒指導や保護者対応において組織的にできていると肯定的な回答をした職員は100%であった。早期対応のため、校内体制を常に見直し、いじめ防止について意識を高めていきたい。 				
	○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動(キャリア教育・総合・生活科・体験活動)	○「将来の夢や目標」について肯定的な回答をした児童(小学6年生)80%以上 ○地域の人とのふれあいについてのアンケートで肯定的な回答の児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会の様々な人と出会う場面を設定し、思いや親しみを知ることで、学ぶことや働くことの意義を考えさせる。 ・児童に活動や学びの振り返り及びより充実させる方策を考えさせる活動を仕組む。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々と田植えなどの交流や、自分たちの住む町について語る活動を通して、地域への関心を高めることができた。 ・地域の方々と交流の後は、振り返りを書かせ、気付いたことや感じたことを記述させることで、学習したことへの理解を深めることができた。 ・地域の人とのふれあい活動について、肯定的な回答をした児童は94%であった。 ・「将来の夢や目標」について、肯定的な回答をした児童は100%であった。 ・地域とのふれあい活動に今後も継続的に取り組み、交流を深めるようにしたい。 				
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」(体育)	●全校の80%以上の児童が、自主的に休み時間を使って運動をし、アンケートで「体を動かすことが好き」と回答する。	<ul style="list-style-type: none"> ・体育委員会を中心に、スポーツイベントを開催する。その際、運動や遊びを推奨する声かけも行う。 ・児童の遊び場の環境整備や道具や器具の充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・7月に行ったアンケート調査結果では、「外で元気に遊んでいる」「進んで元気に取り組んでいる」の項目に対して全校の約80%の児童が「よくあてはまる」と回答した。また、残りの20%の児童が「ややあてはまる」と回答した。今後は、「元気に遊ぶ」を継続的に実施していくとともに、運動場の環境整備等を中心に行っていく。 				
	●「望ましい生活習慣の形成」(保健)	●感染症について正しく理解し、自主的にマスク着用や手洗いをする児童80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の予防法についておたよりで知らせると共に、学校の中で、新しい生活様式の定着を目指して声かけを行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防の基本となるマスクの正しい着用や正しいアルコール手指消毒については、100%の児童が行うことができていた。今後も児童が健康維持を目指して活動できるように指導を継続していきたい。 				
	●「安全に関する資質・能力の育成」(安全・防災)	●非常時の避難の仕方を理解し、避難訓練において安全に避難できる児童100%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練において、児童及び職員の動きの理解を図り、状況に応じた避難を実践させる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者対応避難訓練を実施し、100%の児童が安全に気を付け、避難することができた。また、避難時の職員の対応について共通理解を図り、個々の役割を把握することができた。今後も児童が安全に避難できるように、計画的に訓練を実施したり、自分で自分の身を守る意識を高めていきたい。 				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を意識できた教職員80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムマネジメント力を高めるために、職員が退勤予定時刻を決めて勤務にあたり、定時退勤日を決めて実践したりする。 ・業務内容について職員で話し合って整理し、スリム化を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・4月～7月までの職員の時間外勤務平均は36.5時間であった。前年度最終評価の時点よりさらに効率的に勤務にあたり、退勤予定時刻が増えた。アンケートでも91%の職員が勤務時間を意識して仕事に取り組んでいると答えている。さらに、タイムマネジメント力を高めていきたい。 				

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--